

VI 生徒指導

児童生徒搜索時対応マニュアル

生徒指導係

1 ねらい

児童生徒が本校の教育活動中などにおいて行方不明になった場合、的確に搜索し、児童生徒の心身の安全を守る。

2 搜索方法

(1)第1段階 「校内の初期搜索活動」(搜索事由発生～5分以内)

- ①本部長(校長)へ連絡し、担任(授業担当者)による搜索を行う。
※多動児童生徒の場合、担任はすぐに搜索協力依頼の校内放送をする。
- ②職員1人で授業を行っている場合は、近くにいる職員に児童生徒の安全管理を依頼する。

(2)第2段階 「校内の搜索活動(学部)」(5～10分以内)

- ①担任(授業担当者)から学部職員へ連絡して、学部職員による搜索を行う。

(3)第3段階 「敷地内の一斉搜索活動」(10～30分以内)

- ①担任(授業担当者)および部主事、担任による校内放送で全職員に呼びかけて、各分担区域を搜索する。各学部は担当区域を点検し、本部長(校長)に報告する。
※各分担区域は、校内搜索区域表(表1)を参照。
- ②校舎外の搜索に当たる職員は玄関前に集合し、本部長(校長)の指示の下に行動する。
15分ごとに学校と連絡をとりながら搜索を行う。
- ③必要に応じて、本部長はろう学校職員への搜索依頼を行う。
※ろう学校職員は20分をめぐりに搜索を一旦止めて、本部長への報告を行う。
- ④監視モニターや通学用の靴がないなど、児童生徒が校外へ出たことが認められた場合は、直ちに第4段階へ移行する。
- ⑤生徒の発見次第、速やかに本部長へ連絡を行い、その後全体放送で職員へ伝える。

(4)第4段階 「校外の一斉搜索活動および関係機関などによる拡大校外搜索活動」(30分以上経過)

- ①本部長(校長)は緊急搜索発令の全体放送をする。
- ②緊急事態の放送があった場合は、児童生徒の管理は最小限の職員で当たり、校内搜索と校外搜索にあたる(玄関前に集合し、本部長の指示に従って行動する)。
- ③校外搜索にあたる場合は、児童生徒は各学部の集合場所(教室)に集める。
- ④生徒指導部の職員は、児童生徒の写真をコピーして配布する。また、搜索担当区域を職員へ知らせる。※学校周辺搜索区域図(図1)を参照
- ⑤15分ごとに学校と連絡を取りながら搜索を行う。
- ⑥担任は本部長と相談の上、保護者へ連絡する。
- ⑦本部長は保護者と相談の上、警察へ搜索を依頼する(原則として保護者が搜索願を行う)。また、バス・タクシー会社等へ協力を依頼する。

【校外(行事)の場合】

- ① 所定の場所に児童生徒全員を集め、各学部からの職員数名で児童生徒の管理にあたる。
- ② 本部長の指示で、搜索区域を割り当てる。
本部と15分ごとに連絡をとりながら搜索を行う。
- ③ 生徒指導係は、搜索用の写真カードを準備しておく。
- ④ 救急車以外に搜索用の車1台を確保する。

表1 校内搜索区域表

- ① 小学部・・・小学部(各教室)、プレイルーム、中庭、園芸スペース、作業棟(1F)とその周辺
 - ② 中学部・・・中学部(各教室)、美術室、視聴覚教室、手工芸室、作業棟(2F)
 - ③ 高等部・・・高等部(各教室)、音楽室、被服室、調理室、屋上広場
 - ④ 事務・現業・・・管理棟(保健室、事務室、相談室、応接室、プレイルームなど)、校門付近
 - ⑤ 司書・・・図書室および管理棟
 - ⑥ 体育科職員・・・体育館とその周辺
- ※分担区域の搜索が終わり次第、ろう学校敷地内の搜索を行う。
※それぞれの周辺トイレ、倉庫、外階段などを含まれます。

図1 学校周辺搜索区域図



- | | | |
|--------------|-------|-------|
| A 地区 (瑞慶覧近辺) | …………… | 小学部職員 |
| B 地区 (屋宜原近辺) | …………… | 高等部職員 |
| C 地区 (学校近辺) | …………… | 中学部職員 |

※職員必携を基に、各学部の状況に合わせて搜索時対応マニュアルを作成し事前に確認する。